

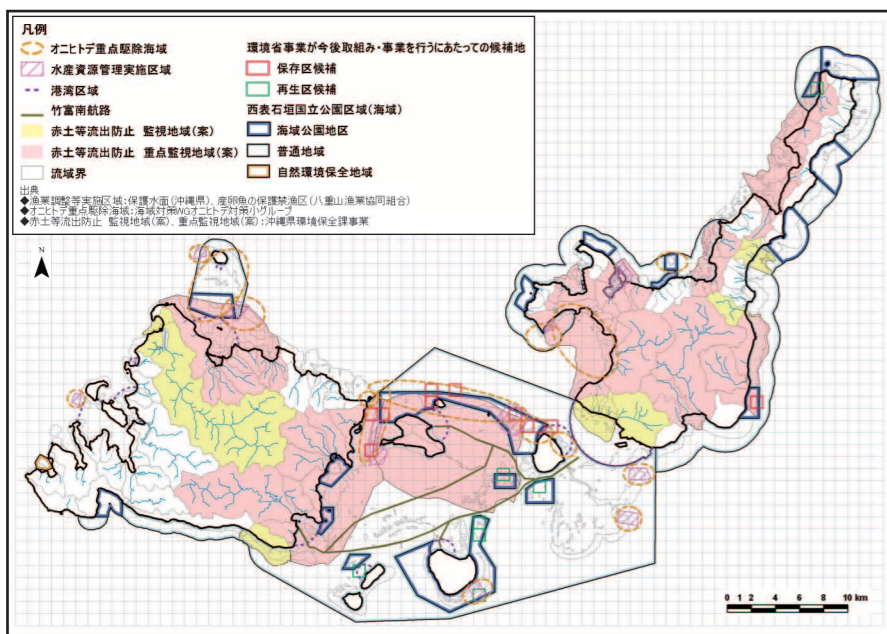
石西 自然再生 礁湖

せき せい しょう こ
石西礁湖はいま シリーズ 16

▲黒島北沖離礁の様子（平成15年当時）

＜協議会員による自然再生の主要な取組海域＞

- ・環境省事業が今後取組み・事業を行うにあたっての候補地（環境省が事業を実施するにあたり設定した重要海域案。）
- ・赤土流出防止監視海域（案）、赤土流出防止重点監視海域（案）（「赤土等流出防止対策基本計画（仮称）」における海域案。）
- ・オニヒトデ重点駆除海域（海域対策ワーキンググループオニヒトデ小グループにおける駆除海域案）
- ・水産資源管理実施区域（漁業資源の回復・持続的な利用のため八重山漁協の指定海域。）
- ・港湾区域、航路
- ・海域公園地区



石西礁湖自然再生協議会「学術調査ワーキンググループ」では、各ワーキンググループと相互に連携しつつ、サンゴ礁のモニタリングや科学的アプローチによる対策について、検討していくこととしています。

今年度は、石西礁湖及びその周辺における多様な主体の取組状況を整理し、それらの情報を協議会員の間で共有するため、取組状況マップを作成しました。今後、自然再生に係る活動を行う際の参考にしていただきたいと思います。

協議会の多様な主体の取組状況

「陸域対策に関する講演会」の開催

八重山には大学はありませんが、多くの研究者の方々が八重山をテーマとして研究されています。陸域対策ワーキンググループでは、このような研究者の方々にご協力いただき、地元の皆様を対象とした講演会を行っています。

- 第1回 講演会(平成24年5月10日)
「石垣島における赤土流出の実態と対策」
宇都宮大学：大澤 和敏 准教授
- 第2回 講演会(平成24年9月16日)
「地理学」
国士舘大学：長谷川 均 教授
「サンゴ礁地理学」
国士舘大学：中井 達郎 講師
- 第3回 講演会(平成24年12月11日)
「世界の農業環境政策：環境支払いの実態とその役割」
学習院女子大学：荏林 幹太郎 教授
「石垣島における赤土対策の検証、株出栽培の促進と支援策」
鹿児島大学：坂井 教郎 教授



「石垣港みなとまつり」の様子

「石垣港みなとまつり」は、毎年「海の日」にちなんで「みなと」の果たす役割を市民の皆様にも知らせてもらおうと企画されている地域イベントで、今年は7月15日・16日の2日間にわたり開催されました。

石西礁湖サンゴ礁基金では、このみなとまつりの中で「サンゴSONGS」と銘打った企画を実施し、サンゴの保全に関するパネルの設置やサンゴについてのクイズ等で来場者の関心を高め、ブースの正面に募金箱を設置しました。その結果、2日間で11万円以上の募金が集まり、大勢の方がサンゴの海に関心や問題意識を持ってくれたことと感じています。また、サンゴサポーターとなった、地元出身の「きいやま商店」と「RYOEI」の任命式やライブも行われました。

今回のイベントでは、サンゴの海を守るためのメッセージソングとして、八島小学校と明石小学校が子どもパークレンジャーで実施したサンゴ学習の感想文を元に「ROYEI」が作詞作曲した「夢色のさんご」が披露され、イベントの最後には「きいやま商店」と「RYOEI」のコラボレーションにより歌っていただきました。このお祭りで、ブースでの周知だけでなく、音楽を通してサンゴの海を守ることの大切さを伝えることができました。



編集
発行

石西礁湖自然再生協議会運営事務局

環境省 那覇自然環境事務所 内閣府 沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課

【住所】〒907-0011 沖縄県石垣市八島町2-27 環境省石垣自然保護官事務所内

【電話】0980-82-4768 【FAX】0980-82-0279

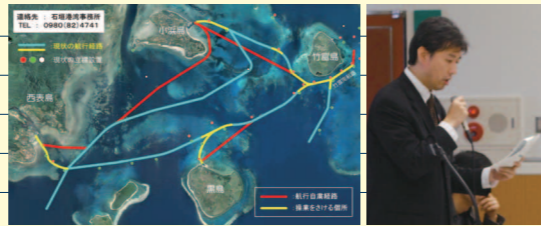
【E-mail】okironc@coremoc.go.jp 【自然再生ホームページ】http://sekiseisyouko.com

協議会における各部会・ワーキンググループの活動報告

生活・利用に関する検討部会からの報告

(事務局：内閣府石垣港湾事務所、竹富町企画財政課)

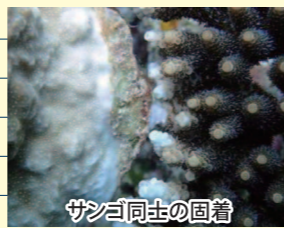
- ・海域利用ルールを具現化するため、「石西礁湖の海域利用・保全ルールマップ」づくりを行う。
- ・竹富南航路浚渫の汚濁防止対策として、汚濁防止膜の二重展張や濁水処理対策を行っている。
- ・航路安全管理のため「追い越し自粛区間」を設定・周知している。



海域対策ワーキンググループからの報告

(事務局：内閣府石垣港湾事務所、八重山漁協、石垣市農林水産部水産課、環境省石垣自然保護官事務所)

- ・海域対策ワーキンググループの取組例として、オニヒトデ対策、水産資源管理、適正利用等が挙げられ、それぞれに小グループを設けて議論を進めることとなった。
- ・竹富南航路の整備にあたり、一部サンゴの移設を行っており、近傍のサンゴ群同士が固着する状況や産卵する状況が確認された。
- ・関係者によるオニヒトデ小グループで駆除事業対象地を選定した。



陸域対策ワーキンググループからの報告

(事務局：石垣市市民保健部環境課、環境省石垣自然保護官事務所)

- ・平成24年3月に第1回の陸域対策ワーキンググループ開催し、5月、9月、12月の3回わたり耕土流出等陸域対策に関する講演会を行った。
- ・講演会は、石垣島で耕土の流出研究をされている宇都宮大学の澤准教授をはじめ、5名の先生方に講演していただいた。
- ・陸域対策としてサトウキビの株出し栽培について、干川委員より発表があった。



普及啓発ワーキンググループからの報告

(わくわくサンゴ石垣島プロジェクト)

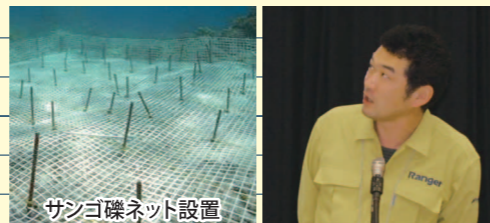
- ・「わくわくサンゴ石垣島」プロジェクトを立ち上げ、石垣島をサンゴとサンゴ礁について学び、触れ合う事が出来る島にするため、石垣島全小学生へのサンゴ礁学習提供を試みている。
- ・協議会においても、配布された資料を用いて、実際にプロジェクトで行っているアクティビティを委員全員で体験した。



学術調査ワーキンググループからの報告

(事務局：環境省石垣自然保護官事務所)

- ・学術調査ワーキンググループ内に、「作業コア部隊」を設置し、取組を進めることとなった。
- ・環境省サンゴ群集修復事業の今後の展開について3案が提案された。
 - ①航路のサンゴ群集移設
 - ②サンゴ礁固定ネット用いた着床基盤の創出
 - ③陸上種苗生産



石西礁湖サンゴ礁基金

(基金運営委員会)

- ・基金の運営や活動助成に対する説明があり、全ての項目において協議会の承認が得られた。
- ・協議会規約の一部が改正され、「特定非営利活動法人(NPO法人)石西礁湖サンゴ礁基金」の立ち上げに向けた作業が進むこととなった。
- ・運営委員及び監査員の再任が承認された。



石西礁湖自然再生協議会の 新たなスタート!

平成25年1月31日(木)に、沖縄県八重山合同庁舎において、「第16回石西礁湖自然再生協議会」を開催し、委員46機関(57名)の出席がありました。今回の協議会を一言で表すとすれば、キーワードは「スタート」です。協議会での3つのスタートについてご紹介します。

【新たなスタート①：第4期委員スタート】

今回の協議会は、第4期委員として初回の協議会でした。第3期委員と比較すると、個人3名、団体・法人7機関からの新たな参加申し込みがあり、計108名・機関の組織となりました。また、この中から、第3期に引き続き、協議会会長として土屋委員、会長代行として吉田委員が選出されました。

【新たなスタート②：新たなサンゴサポーターの参加】

協議会では、はじめに俵万智さんへのサンゴサポーター任命式が行われ、加藤登紀子さん、きいやま商店さん、RYOEIさんに続く4人目のサポーターとして活動していただくこととなりました。

【新たなスタート③：新体制からの報告】

議題では、生活・利用に関する検討部会からの報告の後、新体制としてスタートした4つのワーキンググループ(海域対策、陸域対策、普及啓発、学術調査)から活動報告がありました。

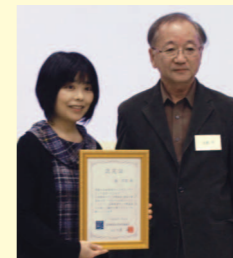
また、石西礁湖サンゴ礁基金運営委員会からは、基金の用途等その他、新たにNPO法人を立ち上げることについて説明があり、協議会で承認されました。

「サンゴサポーター」の任命式

協議会は、本基金の広報、寄付を呼びかけるため、著名人や団体等にサンゴサポーターとなっていていただいています。これまで、2名と1団体の方々にサンゴサポーターの委嘱を行っており、第16回協議会では、新たに俵万智さんへ委嘱を行うことが承認されました。

協議会に参加いただいた俵さんには、協議会の場で、土屋会長より認定証をお渡ししました。

俵さんからは、今後、ご自身の発信力を活かして、サンゴ礁の保全について広く皆さんにお伝えしたいとのご挨拶をいただきました。



■詳細はコチラ
石西礁湖サンゴ礁基金ホームページ
<http://www.strata.jp/sangokikin/index.html>

これまで委嘱した サンゴサポーターのみなさん

加藤 登紀子さん

「うみ とろ ぬー」
あたたかなひびきのこの言葉の中にたくさんのことが秘められている。



きいやま商店

「ずっとずっと僕らが見た美しいサンゴを見せてあげたい。」



RYOEIさん

サンゴ SONG
「夢色のさんご」を作り、みなとまつりでライブを行いました。

